

### 3

## 「種をまき、育てる」 — 探そう！さらなる農の可能性 —

大津の農業をこれから将来にわたって守り大きくしていくためには、伝統的な取り組みを大事にしつつも、新しい取り組みにチャレンジすることが重要です。

そこで、大津市では主力農産物を選定し、その生産の拡大に取り組みます。

その他にも、果樹への転作、ICTやIoT(Internet of Things)などの新しい技術を活用した農業、「指定棚田地域」で栽培された農産物のブランド化など、積極的なチャレンジを行います。

また平成27年(2015)に新設された龍谷大学農学部など、市内にある各大学との連携を深めます。

### 基本施策



- ① 大津の主力農産物をつくり、生産量を増やします
- ② 安全安心な農産物をたくさん作ります
- ③ 新しい農業にチャレンジします
- ④ これまでにない大津らしい新商品を作ります
- ⑤ 大学などとの連携を深めます

### 大津市のチャレンジ！

#### ●大津の主力農産物を定め、販売用

野菜の作付面積をさらに広げます！

(※2017年度にジャガイモ、ニンジン、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーを主力農産物(「華麗なる大津野菜」)に選定)

#### 【市内における販売用野菜の作付面積】

現 状	目 標		
2016年 19.6ha	2021年 (1期) 22.0ha	2025年 (2期) 24.0ha	2029年 (3期) 25.0ha



## ■具体的取り組み（これらの取り組みは関係機関と協議の上、優先順位をつけて取り組みます。）

基本施策	具体的取り組み	実施期間			備考
		第1期	第2期	第3期	
1.大津の主力農産物をつくり、生産量を増やします	①地域ごとに、これまで生産してきた農産物を中心として大津の主力農産物を選びます。（2017年度に選定済。「華麗なる大津野菜」）	→			
	②地域ごとに「華麗なる大津野菜」のモデル生産者を選定し、栽培を実践し、技術の確立につとめます。	→	→	→	
	③地域ごとに「華麗なる大津野菜」の栽培技術について勉強会を行い、生産を増やします。	→	→	→	
2.安全安心な農産物をたくさん作ります	①農業の取扱について定期的な勉強会を開催し、生産者の理解を深めます。	→	→	→	
	②農薬取扱ガイドラインを整備し、市内生産者の普及だけでなく、消費者向けに情報発信します。	→	→	→	
3.新しい農業にチャレンジします	①水田から園芸品目（野菜や花、果樹など）への転作を行う農業モデルを検討し、その取り組みについて情報発信します。	→	→	→	
	②ICTやIoT、ドローンなど新しい技術を導入した取り組みについて、情報発信します。	→	→	→	
	③AIなどを使用した農産物の品質向上をめざす新しい技術について、情報を収集し、その導入事例を共有します。		→	→	新設
	④獣害に強い作物を選び、その栽培技術について研究し、情報発信します。	→	→	→	
	⑤気候変動の影響に対応して安定した生産ができる品種や栽培技術について研究し、情報発信します。		→	→	新設
4.これまでにない大津らしい新商品を作ります	①市内の生産者やその農産物を紹介するウェBSITEなどを通じて、市内外の料理人や商工業者と市内の生産者をマッチングします。	→	→	→	
	②農商工連携や6次産業化に向けた事業を支援します。	→	→	→	
	③農家レストランなど農家の新しい取り組みについて事例を収集し発信します。		→	→	新設
	④中山間地域が多いという大津の特性を活かし棚田地域振興法による「指定棚田地域」で栽培された農産物のブランド化を促進します。		→	→	新設
5.大学などの連携を深めます	①生産者、市内の直売所、大学と連携し、6次産業化による新商品の開発や販売促進に取り組みます。	→	→	→	
	②生産者や地域住民、大学などの多様な主体の連携・協力により地域振興を行う「指定棚田地域振興協議会」の設立を促進します。	→	→	→	新設

## コラム 大津のオリジナル「比良スイカ」

大津市に「スイカ」の産地があることは、みなさんご存知でしょうか。大津市北部の比良周辺では昔からスイカ栽培が盛んにおこなわれ、7月頃から大小の丸いスイカが直売所の軒先に並び始めます。甘みが強く、口触りの良い比良スイカは、まさにジューシーの一言に尽きますが、実は農家の方はほとんど水を与えていないのです。

そもそもスイカはアフリカが原産地であり砂漠が故郷なのです。そんな砂漠生まれのスイカだからこそ、比良山系の水はけのよい砂地と相性が良く、昔から栽培が続けられてきました。

今では栽培地域は比良地域に限定され、さらに滋賀県の環境こだわり農産物認証に適合した優良品だけが「比良スイカ」を名乗ることができます。

7月中頃には市内の農産物直売所に並べられ、みずみずしい夏の訪れを告げてくれます。

